

大西ギャラン(CMSC青森)2秒差で優勝を逃す。

'88全日本ラリー選手権第1戦

第19回DCCSウィンターラリー

2月13、14日の両日、'88全日本ラリー選手権の第1戦として、「第19回DCCSウィンターラリー」が開催された。コースは群馬県赤城の氷上から始まり、榛名、軽井沢、菅平を回って軽井沢でゴールする約300km。

そして、このうちの30kmがSSとなっていて、内訳は赤城小沼が3本、軽井沢の白糸の滝が1本、北軽井沢の浅間園が2本、菅平の信州スポーツランドが2本となっている。このラリーで最も注目された



2位に入賞した大西康弘選手と村上一平選手。のは、ギャランとブルーバードの、ニューマシン同士による一騎打ちだった。特にCMSC青森の大西康弘選手のギャランと綾部美津雄選手のブルーバードは、スタート直後の赤城の氷上に設定されたSS1~SS3から、その差わずか3秒という大接戦。まさに白熱したデッドヒートを繰り広げて、この戦いを見に来た観衆を湧かせてくれた。大西ギャランはその後のSSでも着実にタイムを稼ぎ、加えてCP減点も少なく抑える安定したドライビングで、信州スポーツランドのSS8を終えた時点では綾部選手に9秒差をつけてのトップ。そのままデビューウィン飾るかにも見えた。しかし、綾部選手は残るSS9で会心の走りを見せ、最後の最後で逆転優勝。たった2秒の総減点の差のために、大西選手は涙をのむことになってしまった。

惜しいところで今シーズン最初の優勝を逃しはしたものの、ギャラン上位10台のうち6台を占める大健闘ぶり。この分なら、4月2~3日に行なわれる第2戦の「ひえつき'88」でも、上位独占が、そして優勝にも大きな期待が持てそうだ。



氷上のSSで果敢なタイムアタックをかける大西ギャラン。氷上のステージから3秒差と大接戦。



ニューマシンでの安定したドライビングを見せる大西選手。第2戦以降の活躍が期待される。

■第19回DCCSウィンターラリーCクラス結果

| 順位 | 車両名 | ドライバー | ナビゲーター |
|----|--------|-------|--------|
| 1 | ブルーバード | 綾部美津雄 | 森 哲也 |
| 2 | ギャラン | 大西 康弘 | 村上 一平 |
| 3 | ブルーバード | 神岡 政夫 | 中原 祥雅 |
| 4 | ギャラン | 井上 潔 | 大溝 敏夫 |
| 5 | ファミリア | 磯田 宏志 | 黒田 正彦 |
| 6 | ギャラン | 加勢 裕二 | 林 哲 |
| 7 | ギャラン | 桜井 幸彦 | 岸保 智幸 |
| 8 | ブルーバード | 高崎 正博 | 浜田 博章 |
| 9 | ギャラン | 大庭 誠介 | 小田切順之 |
| 10 | ギャラン | 藤田 哲也 | 田口 雅生 |
| 11 | ギャラン | 福士 文秀 | 永沢 裕之 |



福士ギャランも、ニューマシンで11位に喰い込んだ。

夜間のセクションでも爽快な走りを見せる福士選手。

より実り多き活動を目指して、“CMSC全国大会”開催される。

恒例となったCMSC全国大会が、2月27・28の両日、静岡県御殿場市にある、御殿場ステーションホテルにて開催された。

当日は、雪という悪天候にもかかわらず、全国13支部の代表者、加えて87チャレンジカップ上位入賞者の計47名が参加し、今後のCMSC活動に関しての活発な決議が展開された。

午後の2時より、6時までの4時間余り続いた会合は、外川一雄CMSC会長の挨拶に始まり、続いて、各支部代表者による87年度の活動実績報告、88年度の活動計画発表が行なわれた。各支部の特色ある活動報告に加え、次年度へに向けての積極的な計画案の数々は、地域差こそあれ、各支部の今後の運営に当たっては、大いに参考になるため、各支部代表の表情も真剣そのものであった。

大会の後半は、チーム三菱シブズン夏木の篠塚建次郎選手が、日本人として過去最高の2位に入賞した、「第10回バリダカールラリー」の記録映画上映、'87年度CMSCチャレンジカップシリーズの上位入賞者の表彰と、なごやかなムードで進行。続いて、木全徹氏による、新型ミラージュ・ラリー仕様車の仕様説明、'88年度の各クラブへ対するラリーアートの活動援助方針が本部より提案された。

翌28日は、前日より降り出した大雪のため、新型ミラージュ・ラリー仕様車(3ドア・ハッチバックサイボーグ及び4ドアセダン4WD)の試乗を現車見学に切り替えると共に、篠塚建次郎氏の帰朝報告と氏による質疑応答が行なわれ、映像で見るのとは違った、バリダカールラリーの裏話の数々が披露された。現車を前に会員同士の親睦を深める有意義な時間をもち全日程を終了した。



開会にあたり、今年88年は飛躍の年と挨拶する外川一雄CMSC会長。



篠塚選手によるバリダカール帰朝報告会



全国の支部より47名が参加し行なわれた



真剣な討議をくり広げる、各支部代表者



各クラブ代表者による、前年度の活動報告風景。



ミラージュラリー仕様車(3ドアHB)



ミラージュ4ドアセダンに乗車する篠塚氏



ギャランVR-4 ラリーアートカラー車



雪の中とはいえ、現車を前に熱い視線が……

吉川幸彦選手(CMSC札幌)ギャランで北海道チャンピオンシリーズ第3戦を制覇

第1ステージ(全コース、スタッドレスタイヤ)ラリーセクションを7CPクリアして、第1SS道路幅2mと細く、アップダウンがきつく、路面がアイスバーン。SS2.4kmを走り第1ステージ終了。第2ステージ、第1ステージSSの逆走で距離3.6km。ギャランの吉川幸彦選手は本日の目標1番時計目ざしてスタート。3kmあたり下り右コーナーでスタック。ギャランに押しもらいバックで脱出しゴールへ。1番時計に10秒おくれ

大失敗、とてもくやしい。8CP~11CPまでのナビセクションを減点8でおさえ2位千田/新保組が減点11点、小田ナビのスーパーナビゲーションに助けられ優勝。10位にはCMSC札幌の及川浩司選手が入った。尚、吉川選手はギャラン第1戦(1/8・1/4)10位、第2戦(2/8・2/4)4位と上昇、ギャランを乗り越えて今回の優勝となった。

(レポートCMSC札幌横山)



吉川ギャラン北海道チャンピオンラリー第3戦Cクラス優勝

'87CMSCチャレンジカップ、山形が逃げ切りで優勝に輝く!

87年度のCMSCチャレンジカップ、12月は、どのクラブも獲得ポイントがなく、クラブ別ポイントでは山形が他のクラブのチャレンジを振り切り見事優勝した。今年も、昨年同様の方式で新たなスタートを切るチャレンジカップ。新型ミラージュ、ギャランのパワーに負けないハッスルぶりが期待される。



意欲をかき立てるカップと盾



外川会長より表彰を受ける小川選手

●クラブ別獲得ポイント



左より島根・杉坂氏、山形・小川氏、青森・鶴ヶ谷氏の各氏

| 順位 | 支部 | 1~5月 | 6~8月 | 9~11月 | 12月 | 合計 |
|----|----|------|------|-------|-----|-----|
| 1 | 山形 | 125 | 100 | 71 | 0 | 296 |
| 2 | 青森 | 60 | 104 | 58 | 0 | 222 |
| 3 | 島根 | 71 | 68 | 60 | 0 | 199 |
| 4 | 帯広 | 62 | 40 | 22 | 0 | 124 |
| 5 | 栃木 | 26 | 74 | 9 | 0 | 109 |
| 6 | 札幌 | 0 | 49 | 16 | 0 | 65 |
| 7 | 岩手 | 32 | 0 | 32 | 0 | 64 |
| 8 | 埼玉 | 10 | 0 | 51 | 0 | 61 |
| 9 | 福島 | 38 | 22 | 0 | 0 | 60 |
| 10 | 岐阜 | 9 | 34 | 1 | 0 | 44 |
| 11 | 香川 | 41 | 0 | 0 | 0 | 41 |
| 12 | 群馬 | 11 | 3 | 10 | 0 | 24 |
| 13 | 仙台 | 2 | 0 | 4 | 0 | 6 |

●ラリー部門ドライバー



左より2位館山、1位大西、3位福士の各選手

●ラリー部門ナビゲーター



1位の永沢選手(左)と2位の田口選手

●スラローム部門



左より2位小野、1位国谷、3位富樫の各選手

●レース部門



左より3位加藤、1位蒲原に代り中島、2位小川の各氏

| 順位 | 氏名 | 支部 | ポイント |
|----|-------|----|------|
| 1 | 大西 康弘 | 青森 | 86 |
| 2 | 館山 正嗣 | 青森 | 64 |
| 2 | 福士 文秀 | 青森 | 64 |
| 4 | 小川日出生 | 山形 | 56 |
| 5 | 千田 俊二 | 札幌 | 50 |
| 6 | 高橋 光男 | 福島 | 42 |
| 7 | 武蔵 秀雄 | 岩手 | 36 |
| 8 | 馬場 宏治 | 岩手 | 18 |
| 9 | 菅野 茂 | 山形 | 12 |
| 10 | 菅野 茂 | 福島 | 10 |

| 順位 | 氏名 | 支部 | ポイント |
|----|-------|----|------|
| 1 | 永沢 裕之 | 青森 | 104 |
| 2 | 田口 雅生 | 本部 | 72 |
| 3 | 吉田 東悦 | 福島 | 42 |
| 4 | 葛西 一省 | 青森 | 24 |
| 5 | 村山 豊 | 山形 | 12 |
| 6 | 佐藤 忠宣 | 福島 | 10 |
| 7 | 石井 隆夫 | 青森 | 6 |

| 順位 | 氏名 | 支部 | ポイント |
|----|-------|----|------|
| 1 | 国谷 益雄 | 島根 | 79 |
| 2 | 小野 馨 | 山形 | 63 |
| 3 | 富樫 昭彦 | 帯広 | 56 |
| 4 | 井馬 隆之 | 帯広 | 50 |
| 5 | 菅野 茂 | 山形 | 49 |
| 6 | 杉坂 啓一 | 島根 | 45 |
| 7 | 白井 修 | 香川 | 41 |
| 7 | 川俣 豊一 | 栃木 | 41 |
| 9 | 蜂谷 重則 | 山形 | 35 |
| 10 | 菅原 治樹 | 山形 | 33 |

| 順位 | 氏名 | 支部 | ポイント |
|----|-------|----|------|
| 1 | 蒲原 芽里 | 埼玉 | 42 |
| 2 | 小川日出生 | 山形 | 32 |
| 3 | 加藤 元章 | 本部 | 26 |
| 4 | 栗田 律雄 | 岩手 | 10 |
| 5 | 松本 久雄 | 栃木 | 3 |

CMSC'88主催イベント

CMSCが主催するイベントスケジュールが決定した。1月の青森をスタートに、10月の帯広まで、全国各地で12戦の開催が予定されている。主催クラブは当然のことCMSC会員の活躍が楽しみである。

| 月 | 日 | 主催 | イベント名 |
|----|-------|----|--------------------------------------|
| 1 | 23、24 | 青森 | ●CMSCウインターラリーイン青森('88JMRC東北シリーズ第1戦) |
| | 24 | 帯広 | ●第6回CMSC帯広コルト氷上トライアル |
| 4 | 10 | 山形 | ●'88CMSC山形ダートトライアル(県シリーズ第1戦) |
| 5 | 8 | 群馬 | ●'88CMSCトリアルin群馬(県シリーズ第1戦) |
| | 22 | 香川 | ●'88CMSCアストロトライアル(四国シリーズ) |
| 6 | 5 | 栃木 | ●'88スリーダイヤモンドトライアル(県シリーズ) |
| | 25、26 | 帯広 | ●第4回コルトラリー |
| 8 | 21 | 島根 | ●'88CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第6戦) |
| | 21 | 帯広 | ●第4回AMC杯CMSCダートトライアル |
| 9 | 11 | 岩手 | ●岩手三菱ダイヤモンドトライアル(県シリーズ第6戦) |
| | 25 | 香川 | ●'88CMSCダイヤスタートトライアル |
| 10 | 30 | 帯広 | ●CMSC帯広ダートトライアル |

121台と、過去最高のエントリーを集め盛大に開催。

'88道東氷上シリーズ第1戦

第6回CMSC帯広コルト氷上トライアル

今年度のトップを切って、1月24日コルト氷上トライアルが、121台と過去最高の出場台数を集め開催された。道東氷上シリーズの第1戦として戦われた今大会は、エントリー数の関係上、360°ターンやパイロン区間を削除し、距離も1.5kmとショートなコースに変更となったが、当日は、快晴、気温真冬日と絶好のコンディションであった。三菱車は計6台のエントリーがあり、FRクラスでは、87CMSCチャレンジカップ3位の富樫選手が4位入賞、チューリップタイヤ部門でも、C-D車両にまじり、ただ1台のB車両のランサーで気をはき、7位と健闘した。また競技前の試走では、チーム員の伊吹VR-4が全開走行をし、熱い視線を浴びていた。(レポート青沼達也)



大会は絶好のコンディション下で行なわれた



FRクラスで4位に入賞した富樫ランサーの華麗な氷上テクニク



疾走する富樫ランサー



試走する甲吹VR-4



転倒しながらも優勝を決めた土肥Z

CMSCメンバー三菱車で上位入賞続出

'88東北ラリーシリーズ第1戦

CMSCウィンターラリーin青森

'88年度東北ラリーシリーズのトップを切って、CMSC青森主催の'88CMSCウィンターラリーin青森が1月23-24日の両日、岩木山麓周辺を中心に開催された。今年は、全国的な暖冬で、ラリー会場附近もスタート直前まで路面の積雪ゼロといった状態。幸いスタート後間もなく恵みの雪があり、ウィンターラリーの面目を保つことが何とか出来るといった具合であった。コースは、SSが5ヶ所、ナビ区間が9区間の約180km。CMSCからは、大ベテラン、福島の菅野茂選手がコルディア4WDで、山形から小川日出生選手がニューカーのギャランVR-4、仙台からも佐藤政一選手がランサーで参加。一方、迎え打つ地元青森勢は、全日本ラリーへ出場している大西康弘選手の兄、大

西弘晃選手がギャランVR-4、栢沢宏之、金田一選手がコルディア4WDと、豪華メンバーが出場。第一ステージでは、山形の小川選手がトップで上り、第2ステージ残り3つのSSを走り切ればVR-4の初優勝といったシーンも。結果は、惜しくもCクラス3位であったが、大西選手、栢沢選手などの見事な走りに加え、VR-4のセッティング、練習量の少なさを考えると、今後の活躍が大いに期待できる感触が得られた、スタートとしては幸先の良い第一戦であった。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

| 順位 | 車両名 | ドライバー | ナビゲーター | CMSC |
|-----|-----------|-------|--------|--------|
| 1位 | ファミリア4WD | 立花 志謹 | 北向 寿 | |
| 2位 | ファミリア4WD | 山下 公男 | 藤田 健治 | |
| 3位 | ギャラン4WD | 小川日出生 | 小田切順之 | 山形 |
| 4位 | コルディア4WD | 菅野 茂 | 佐藤 忠宣 | 福島 |
| 5位 | ブルーバード4WD | 土館 正博 | 佐藤 広司 | |
| 6位 | コルディア4WD | 高橋 幸輝 | 石田 康夫 | (ナビ青森) |
| 7位 | ギャラン4WD | 大西 弘晃 | 丸山 尚人 | 青森 |
| 10位 | ギャラン4WD | 加藤 正実 | 藤田 裕一 | |



トップとわずかの差の3位となった小川選手のギャランVR-4



小川選手とナビの小田切選手。



入賞を喜ぶ小川選手とチームメイト



大会を主催したCMSC青森のメンバーによる記念撮影。



4位に入賞した菅野コルディア4WD



CMSC青森の石田選手がナビの高橋コルディア



7位となった大西(兄)ギャラン4WD

ベテラン福島の菅野選手、第2戦もコルディアで4位に入賞。

'88東北ラリーシリーズ第2戦

第8回田沢湖高原ウィンターラリー

青森での第1戦に続いて、'88東北ラリーシリーズの第2戦、第8回田沢湖高原ウィンターラリーが、2月13-14の2日間、秋田県の田沢湖をスタートとする山岳コース240kmで戦われた。エントリー台数はフルエントリーに近い56台が参加。コースは全コースナビゲーター区間で、SSは最後の1ヶ所(1km)のみの設定。三菱車はCクラスの参加車両の半分以上を占めたが、ギャランの参加が少なく、コルディアが中心。青森の館山選手がコルディアで2位に喰い込んだ。



見事な走りでも2位となったCMSC青森の館山コルディア



ドライバー館山選手とナビの葛西選手

| 順位 | 車両名 | ドライバー | ナビゲーター | CMSC |
|-----|-------|-------|--------|--------|
| 1位 | ファミリア | 横山 清一 | 早坂 喜昭 | |
| 2位 | コルディア | 館山 正嗣 | 葛西 一省 | 青森 |
| 3位 | ファミリア | 立花 志謹 | 北向 寿 | |
| 4位 | コルディア | 菅野 茂 | 佐藤 忠宣 | 福島 |
| 7位 | ギャラン | 小川日出生 | 多比羅フミオ | 山形 |
| 9位 | コルディア | 高橋 幸輝 | 石田 康夫 | (ナビ青森) |
| 11位 | コルディア | 金田一直志 | 一戸 剛 | 山形 |



SSをスタートする菅野コルディア



菅野コルディアはCクラス4位に入賞



小川ギャランはSSで痛恨のコースミスで7位

CMSC青森の永沢裕之選手ナビ部門でシリーズ1位に。

'87JMRC東北シリーズ戦

'87年度のJMRC東北シリーズ戦(レース、ラリー、ダート)のシリーズ優勝者の表彰式が、1月31日仙台にて開催された。当初7戦の予定が全4戦で終了となったラリーチャンピオンシリーズ戦では、Bクラス(1301cc以上)で、CMSC青森の永沢裕之選手(コルディア4WD)が、ナビゲーター部門の1位を見事獲得。またドライバー部門でも最終の第4戦で優勝した、CMSC青森の福士文秀選手(コルディア4WD)

がシリーズ3位、CMSC山形の小川日出生選手(コルディア4WD)が4位となった。'86年度のドライバー部門のチャンピオンCMSC青森の館山正嗣選手は、第3戦で優勝したものの資格有効2戦以上の規定により、残念ながらポイント対象外となってしまった。

'88シリーズはすでに2戦が終了、今シーズンより従来のジュニアシリーズとチャンピオンシリーズが統合され、クラス区分が全日本ラリー同様A(1000cc)、B(1001-1600cc)、C(1601cc-)の3クラス分けにより戦われることになった。



小川選手



高橋選手



福士選手(右)



永沢選手